

イヒョン 著 ヤンオクスン 梁玉順 訳 (解説・仲村修)

四六判・並製・357頁
978-4-87714-476-0

定価2,200円+税

2018年
3月刊

1945, 鉄原

チョロン

日本の支配から解放された日、
朝鮮半島で人びとは何を夢見ただろうか——



装画・挿絵: 金明和
装丁: 桂川潤

物語の舞台は、朝鮮半島のまん中にある街・鉄原。米・ソ両大国をうしろだてにした、北緯38度線の南側・北側双方の思惑が入りみだれ、やがて街のあちこちであやしい事件が発生。動揺が広がるなか、事件の真相をさぐろうと、3人の若者が38度線を越えて京城(現ソウル)へと向かうが……。

朝鮮半島を南北へ引きさく歴史の大きな力にほんろうされながらも、夢をあきらめない彼らの姿は、深く静かな感動を呼びます。

韓国の実力派作家によるYA小説の傑作!

*対象: 中学生以上~大人まで

*中1以上の学習漢字にルビをふっています

(著者について) イヒョン (以玄)

1970年、韓国釜山生まれ。ソウル在住。2004年第10回全泰壺(チョンテイル)文学賞小説部門受賞を機に作家活動を始める。2006年童話「ジャージャー 麺がのびちゃうよ!」で第13回チャンピ(創批)「すぐれた子どもの本」原稿公募大賞、2012年童話『ロボットの星』(SF)で第2回昌原児童文学賞を受賞。童話に『チャンス バンザイ!』、『のら犬アクタンの重み』、氷河期でもかまわない』他多数。YA小説に『わたしたちのスキャンダル』、『オオ、わたしの男たち!』、『あの夏のソウル』(『1945, 鉄原』の続編)他。



●韓国での書評より

読者は、抽象的な歴史でない血と肉を持った人間のこと、そして解放期の激動性を立体的に体験することができるだろう。——ソン アナ (童話作家・児童文学評論家)

本書は、歴史教科書においてわずかな文章でやり過ごされてしまった現代史の生きた現場に、われわれを案内する。(『ノカットニュース』)

●出版社より

——歴史に根差した物語から、隣国の人びとへの想像力を——
平和をつくるためには、何が必要でしょうか。激動する歴史の中で人びとは何を夢見て、どのように生きてきたのか、そんな想像力から、平和へのヒントは生まれると私たちは考えます。

1945年8月15日、日本は降伏し敗戦となりましたが、同時に朝鮮半島は36年間続いた日本の植民地支配から「解放」されました。そのとき朝鮮半島の人びとは、どんな夢をいだいて新しい時代へと歩みだしたのでしょうか。

本書には、まだ南・北に分かたれることなく、「解放」という「夢」が朝鮮半島を包んでいた時代、しのびよる「民族分断」の「壁」を前に、困難な時代を力強く生きる15歳の少女の姿が生き生きと描かれています。

現在、日本と朝鮮半島の二つの国との関係は、残念ながら良好とはいえません。きな臭い話も聞こえてきます。そんな時だからこそ、物語を通じて「近くて遠い国」の歴史や人びとの姿を知り、平和な関係をつくりだすための想像力をつちかう一助となればと願い、本書を刊行いたします。

注文書

*書店様記入欄 [取次番線・コード印]	イヒョン 著 梁玉順 訳	チョロン 1945, 鉄原	ISBN : 978-4-87714-476-0 定価2,200円+税	冊
	お客様氏名 : _____		電話番号 : _____	
ご住所 : 〒 _____				
【ご担当名 : _____】				

影書房 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-3-15 TEL:03-6902-2645 FAX:03-6902-2646 http://www.kageshobo.com

※ご注文の際は、上にお名前・ご住所・電話番号・ご注文冊数をご記入の上、お近くの書店へお持ち下さい。